

マリンウェイブ

2012年度 特別勘定の現況

●投資環境(2012年度)

日本株式市場 日経平均株価は期初10,161円で始まりました。中国の経済成長鈍化への懸念や米国の経済指標の悪化などによる世界景気減速懸念等から同株価は下落傾向を示しました。また、欧州債務問題の再燃等により株価下落に拍車がかかり、6月に日経平均株価は当期最安値となる8,238円まで下落しました。その後一進一退のもみあいの展開がしばらく続きましたが、11月に衆議院が解散され、12月の総選挙で自民党が圧勝すると、安倍政権が日銀に無制限の金融緩和を求める姿勢を明確にしたこと等から急ピッチに円安が進行しました。更にその他同政権による機動的な財政政策や成長戦略など矢継ぎ早の政策発動を示唆したこと等を受け、政策への信頼感や企業業績の改善期待等から3月まで同株価は上昇傾向を示しました。3月に日経平均株価は当期最高値となる12,650円まで上昇し、期末は12,397円で終了しました。

外国株式市場 期初、S&P500は1,408.47、FTSE100は5,768.45で始まりました。くすぶる欧州債務問題の再燃でリスク回避の動きから株価は軟調に推移し、6月にはS&P500は1,266.74、FTSE100は5,229.76の当期最安値をつけましたが、7月のドラギ欧州中央銀行総裁の「ユーロ圏の安定のためにあらゆる手段を講ずる用意がある」との発言を契機として、また米連邦準備制度理事会による量的緩和への期待等を背景として、リスク資産を嗜好する動きが強まり、株価はその後年度末に向け緩やかな上昇傾向を示しました。3月にはS&P500が2007年以来の史上最高値更新となる1,570.28を付け、FTSE100は6,533.99の当期最高値をつけるなど株価は堅調に推移し、期末は若干値を戻しS&P500が1,569.19、FTSE100は6,411.74で終了しました。

日本債券市場 10年国債利回りは期初1.01%で始まり、長期化する円高・デフレや日銀の追加緩和期待等により7月に同利回りは0.7%程度まで低下しました。その後一進一退のもみあいがしばらく続きましたが、白川日銀総裁の後任となる黒田新総裁が、2%の物価安定目標を達成するためにマネタリーベースと長期国債・上場投資信託の保有額を2年間で2倍に拡大することや長期国債買い入れの平均残存期間を2倍以上に延長することなど、大胆な金融緩和策を打ち出すと、このいわゆる「異次元緩和」への期待感から同利回りは低下傾向を示し、3月には0.51%まで低下しました。期末は若干上昇して10年国債利回りは0.55%で終了しました。

外国債券市場 期初、米国10年国債利回りは2.22%、ドイツ10年国債利回りは1.84%で始まりました。深刻化する欧州債務問題への懸念を背景に、相対的に高い信用力を持つ米国やドイツの国債が選好された結果、7月に米国10年国債利回りは1.37%、ドイツ10年国債利回りは1.12%まで低下しました。1月に公表された米連邦公開市場委員会議事録で、一部のメンバーが2013年中の国債購入終了の可能性に言及したことが判明したこと等により、米国10年国債利回りが一時上昇しましたが、その後一進一退のもみあいの展開となり、期末には米国10年国債利回りは1.84%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で終了しました。

外国為替市場 米国の長期金利の低下や欧州債務問題により、円は逃避通貨として選択されたことから、対米ドルのみならず、ユーロに対しても円高傾向を示しました。9月には米連邦準備制度理事会が導入を決定した量的緩和第三弾を受け、対ドルで円は当期最高値の1米ドル＝77.13円まで上昇しました。欧州債務問題の南欧への波及からユーロは下落を続け、7月には2000年以来のユーロ安・円高水準となる1ユーロ＝94.11円を付けました。その後は、日銀の大胆な金融緩和への期待や燃料輸入の増加の影響等で拡大する日本の貿易赤字等を背景に期末にかけて円安傾向となり、期末には1米ドル＝94.22円、1ユーロ＝120.78円で終了しました。

●特別勘定の運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2012年度決算(決算日:2013年3月31日)を行いました。当資料は2012年度の運用状況をご報告するものです。
(3ページ以降は特別勘定レポート(2013年4月発行(2013年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。)



211005

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス 40ST	世界バランス 50ST
現預金・コールローン	120	94
有価証券	6,462	5,146
公社債	-	-
株式	-	-
外国証券	-	-
公社債	-	-
株式等	-	-
その他の証券	6,462	5,146
貸付金	-	-
その他	223	183
貸倒引当金	-	-
合計	6,805	5,424

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス 40ST	世界バランス 50ST
利息配当金等収入	41	36
有価証券売却益	-	-
有価証券償還益	-	-
有価証券評価益	1,182	1,019
為替差益	-	-
金融派生商品収益	-	-
その他の収益	-	-
有価証券売却損	70	72
有価証券償還損	-	-
有価証券評価損	196	175
為替差損	-	-
金融派生商品費用	-	-
その他の費用及び損失	-	-
収支差額	957	808

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 40ST	新光外国株式インデックス VA	97,668	82,900	249,552	238,296
	新光日本債券インデックス VA	283,637	317,019	173,411	176,373
	TMA 日本株式インデックス VA *	183,036	124,500	339,922	338,606
	TMA 外国債券インデックス VA *	70,206	79,100	162,151	170,844
世界バランス 50ST	新光外国株式インデックス VA	104,275	87,000	292,129	283,771
	新光日本債券インデックス VA	238,493	266,692	154,169	157,261
	TMA 日本株式インデックス VA *	148,693	100,300	277,464	282,125
	TMA 外国債券インデックス VA *	49,373	54,900	101,517	106,796

※単位未満切捨て

* 適格機関投資家限定

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF マリンウェイブ	3,476	12,766

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

目標値 110% または 120% の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス 40ST	新光外国株式インデックス VA	新光投信	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式 20%、外国株式 20%、日本債券（短期金融資産を含む） 30%、外国債券 30%です。
		新光日本債券インデックス VA		
		TMA 日本株式インデックス VA*	東京海上アセット マネジメント投信	
		TMA 外国債券インデックス VA*		

* 適格機関投資家限定

目標値 130%、140% または 150% の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス 50ST	新光外国株式インデックス VA	新光投信	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式 20%、外国株式 30%、日本債券（短期金融資産を含む） 30%、外国債券 20%です。
		新光日本債券インデックス VA		
		TMA 日本株式インデックス VA*	東京海上アセット マネジメント投信	
		TMA 外国債券インデックス VA*		

* 適格機関投資家限定

特別勘定の運用状況

2013年3月末現在

●特別勘定 純資産総額の内訳

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分		純資産 総額 (百万円)
	株式		債券				資産額 (百万円)	配分 (%)	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランス40ST		●			新光外国株式インデックスVA	新光投信	1,325	20.0%	6,618
			●		新光日本債券インデックスVA		1,851	28.0%	
	●				TMA日本株式インデックスVA*	東京海上アセット マネジメント投信	1,311	19.8%	
				●	TMA外国債券インデックスVA*		1,973	29.8%	
					現預金その他	—	156	2.4%	
世界バランス50ST		●			新光外国株式インデックスVA	新光投信	1,581	30.0%	5,267
			●		新光日本債券インデックスVA		1,473	28.0%	
	●				TMA日本株式インデックスVA*	東京海上アセット マネジメント投信	1,043	19.8%	
				●	TMA外国債券インデックスVA*		1,047	19.9%	
					現預金その他	—	121	2.3%	

*適格機関投資家限定

●特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率



ユニットプライス 2013年3月末現在	96.53
------------------------	-------

ユニットプライス 2013年3月末現在	97.09
------------------------	-------

期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年
	2.74%	9.55%	19.80%	13.98%

期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年
	3.01%	10.55%	20.78%	15.08%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
 ※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：外国株式】

新光外国株式インデックスVA

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、新光投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

- 組入れ投資信託名： 新光外国株式インデックスVA
- 投資信託委託会社： 新光投信株式会社
- 組入れ投資信託の運用方針： 主として新光外国株式インデックスマザーファンド受益証券に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
- ベンチマーク： MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	11,746円
純資産総額	5,501百万円

■ 資産構成

	比率(%)
現物等組入比率	93.2
コール等	6.8
先物等組入比率	6.4
実質株式組入比率	99.6

*資産構成は実質組入比率です。

■ 騰落率(基準価額ベース、分配金込み)

	1ヵ月間	設定来
当ファンド	3.96%	18.05%
ベンチマーク	5.10%	22.31%

※設定来の騰落率は、設定日前日を基準に数値を算出しています。

■ 基準価額の推移グラフ



※ベンチマークは「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000として指数化しております(設定日:2005年8月16日)。※「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はモルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

■ 株式組入上位10業種(単位: %)

業種	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1 エネルギー	10.07	10.86
2 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.87	8.54
3 銀行	7.21	7.77
4 資本財	6.96	7.41
5 食品・飲料・タバコ	6.61	7.12
6 ソフトウェア・サービス	5.91	6.30
7 素材	5.87	6.24
8 各種金融	4.76	5.09
9 保険	4.17	4.49
10 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.72	4.02

*ファンドのウェイトとは、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■ 株式組入上位10銘柄(単位: %)

(組入銘柄数:1291)

銘柄名	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1 APPLE INC	1.54	1.67
2 EXXON MOBIL CORP	1.51	1.64
3 GENERAL ELECTRIC CO(US)	0.89	0.97
4 NESTLE SA-REGISTERED	0.86	0.93
5 CHEVRON CORP	0.85	0.93
6 INTL BUSINESS MACHINES CORPORATION	0.83	0.92
7 JOHNSON & JOHNSON	0.83	0.90
8 MICROSOFT CORP	0.80	0.87
9 GOOGLE INC-CL A	0.79	0.84
10 PFIZER INC	0.78	0.85

*ファンドのウェイトとは、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき新光投信により作成されていますが、新光投信株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：日本債券】

新光日本債券インデックスVA

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、新光投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■ 組入れ投資信託名： 新光日本債券インデックスVA

■ 投資信託委託会社： 新光投信株式会社

■ 組入れ投資信託の運用方針： 主として新光日本債券インデックスマザーファンド受益証券に投資し、NOMURA-BPI 総合の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

■ ベンチマーク： NOMURA-BPI 総合

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	11,310円
純資産総額	3,325百万円

■ 資産構成

	比率(%)
実質株式組入比率	0.0
実質公社債組入比率	99.5
うち国債	79.3
実質CP組入比率	0.0
コール等	0.5

*資産構成は実質組入比率です。

■ 騰落率(基準価額ベース、分配金込み)

	1ヵ月間	設定来
当ファンド	1.05%	13.86%
ベンチマーク	1.08%	17.46%

※設定来の騰落率は、設定日前日を基準に数値を算出しています。

■ 基準価額の推移グラフ



※ベンチマークは「NOMURA-BPI 総合」で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000として指数化しております（設定日：2005年8月16日）。※「NOMURA-BPI 総合」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

■ 組入債券上位銘柄(単位：%)

(組入銘柄数：191)

	銘柄	クーポン	償還日	額面	評価額	組入比率(%)	残存年数
1	第273回利付国債(10年)	1.5%	2015/09/20	280,000,000	289,937,200	1.68	2.479
2	第263回利付国債(10年)	1.6%	2014/09/20	280,000,000	286,386,800	1.66	1.479
3	第313回利付国債(10年)	1.3%	2021/03/20	250,000,000	267,777,500	1.55	7.975
4	第303回利付国債(10年)	1.4%	2019/09/20	240,000,000	257,978,400	1.50	6.479
5	第269回利付国債(10年)	1.3%	2015/03/20	250,000,000	256,157,500	1.49	1.975
6	第290回利付国債(10年)	1.4%	2018/03/20	240,000,000	255,096,000	1.48	4.975
7	第306回利付国債(10年)	1.4%	2020/03/20	220,000,000	236,992,800	1.38	6.975
8	第308回利付国債(10年)	1.3%	2020/06/20	220,000,000	235,705,800	1.37	7.227
9	第87回利付国債(5年)	0.5%	2014/12/20	230,000,000	231,794,000	1.35	1.729
10	第315回利付国債(10年)	1.2%	2021/06/20	210,000,000	223,274,100	1.30	8.227

※上記の組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき新光投信により作成されていますが、新光投信株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：日本株式】

TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・ 当該投資信託は、適格機関投資家専用として設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 組入投資信託名：

TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>

■ 投資信託委託会社：

東京海上アセットマネジメント投信株式会社

■ 組入投資信託の運用方針：

TOPIXに連動する投資成果の達成を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA日本株TOPIXマザーファンド受益証券」(以下「マザーファンド受益証券」といいます。)に投資します。

■ ベンチマーク：

TOPIX

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	9,385円
純資産総額	86,556 百万円

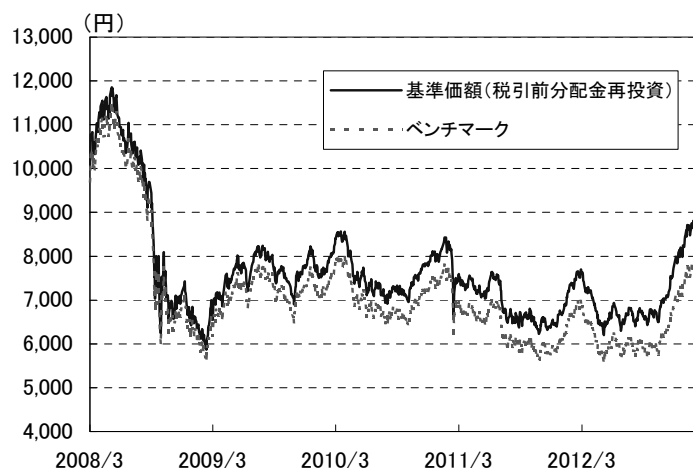
■ 資産構成

	比率(%)
実質組入比率	99.9
内現物等組入比率	98.2
内先物等組入比率	1.8
現金等比率	0.1

■ 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	直近1ヵ月	直近6ヵ月
当ファンド	+6.98	+41.32
ベンチマーク	+6.05	+40.31

■ 基準価額の推移グラフ(税引前分配金再投資)



※ベンチマークはTOPIXで、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000円として指数化しております(設定日：2005年8月18日)。※TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

出所：Thomson Datastream

■ 組入上位10銘柄等

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1026銘柄)

No	銘柄	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	自動車	4.28
2	三菱UFJ FG	銀行	2.88
3	本田技研工業	自動車	2.06
4	三井住友 FG	銀行	1.93
5	みずほ FG	銀行	1.75
6	キャノン	産業用エレクトロニクス	1.45
7	ソフトバンク	通信	1.40
8	武田薬品工業	医薬品・ヘルスケア	1.35
9	日本たばこ産業	食品	1.27
10	三菱地所	建設・住宅・不動産	1.23

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	11.73
2	銀行	10.54
3	産業用エレクトロニクス	7.41
4	機械	6.76
5	基礎素材	6.44
6	医薬品・ヘルスケア	6.07
7	建設・住宅・不動産	6.04
8	運輸	5.45
9	各種金融	4.97
10	食品	4.23

※組入上位10銘柄・組入上位10業種はマザーファンド(TMA日本株TOPIXマザーファンド)ベースです。※業種名は弊社独自の21業種分類です。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。※株式(現物)には、新株予約権証券を含む場合があります。

注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメント投信により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：外国債券】

TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・ 当該投資信託は、適格機関投資家専用として設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 組入投資信託名：

TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>

■ 投資信託委託会社：

東京海上アセットマネジメント投信株式会社

■ 組入投資信託の運用方針：

シティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA外国債券インデックスマザーファンド受益証券」(以下「マザーファンド受益証券」といいます。)に投資します。

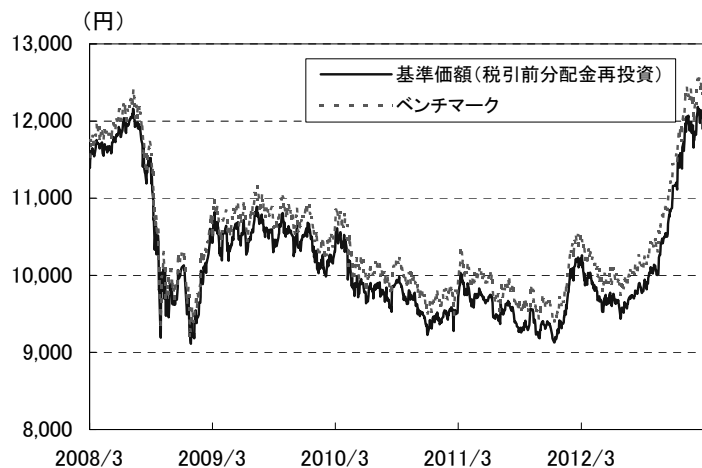
■ ベンチマーク：

シティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	11,905円
純資産総額	126,325 百万円

■ 基準価額の推移グラフ(税引前分配金再投資)



■ 資産構成

	比率(%)
実質組入比率	98.7
内現物等組入比率	98.7
内先物等組入比率	0.0
現金等比率	1.3

■ 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	+1.27	+21.64
ベンチマーク	+2.44	+21.92

※ベンチマークはシティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化しております(設定日：2005年7月29日)。※シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

出所：Factset

■ 組入上位10銘柄等

組入上位10銘柄 (組入銘柄数：406銘柄)					
No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	ドイツ国債	3.750	2015/01/04	ユーロ	1.40
2	米国債	3.375	2019/11/15	米ドル	1.35
3	米国債	4.375	2039/11/15	米ドル	1.08
4	米国債	4.250	2015/08/15	米ドル	1.07
5	米国債	8.125	2019/08/15	米ドル	0.97
6	米国債	3.250	2016/07/31	米ドル	0.87
7	米国債	4.000	2015/02/15	米ドル	0.85
8	フランス国債	3.750	2021/04/25	ユーロ	0.84
9	米国債	8.750	2017/05/15	米ドル	0.84
10	ドイツ国債	3.250	2020/01/04	ユーロ	0.83

通貨別比率(組入上位5通貨)

通貨	比率(%)
米ドル	41.01
ユーロ	40.51
英ポンド	7.35
カナダ・ドル	2.69
オーストラリア・ドル	1.52

ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	1.60
平均クーポン(%)	4.02
平均残存期間(年)	8.06
修正デュレーション(年)	6.07

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき東京海上アセットマネジメント投信により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります（ただし、目標値の変更により積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には、別途「積立金移転費用」がかかりますのでご注意ください）。

	項 目	内 容	費 用	備 考（適用時期等）
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用 期間中	保険関係費用 （保険契約管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.55%/365日を乗じた額を 毎日控除します。
	資産運用 関係費用* （資産運用管理費）	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率 0.315% 程度 （税抜 年率0.3%程度）	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率0.315%程度/365日を 乗じた額を毎日控除します。
	積立金移転費用	1保険年度に12回を超える積立金の移転の際	1保険年度13回以上の移転の際 ：一回につき 1,000円 （税込）	移転時に積立金から控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 （年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	支払年金額に対して 1%	年金支払開始日以降、年1回の 年金支払日に責任準備金から 控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品をご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動（増減）につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。また、目標値の変更により積立金の移転が生じた際には、特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。
- 「マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金（年金支払期間15年）のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】 みずほ証券株式会社	【引受保険会社】 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社 〒167-0043 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー TEL 03-6383-6811（大代表） ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは 0120-155-730 受付時間 月～金/9:00～17:00 （祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。）
------------------------------------	---